



～八幡保育所～

議会だより

や め

No.140 平成25年5月1日



イメージキャラクター
(みどりちゃん)

■ P 2 **過去最大 372億2千万円**

平成25年度一般会計予算

■ P 3 **市内の小中学校に空調設置へ**

(議案審議)

■ P 6 **TPP** に関する意見書を国に提出

■ P 11～17 **ここが聞きたい!** 一般質問 **11人** の議員が登壇

平成25年度一般会計当初予算 賛成多数で可決 過去最大 372億2千万円

～確かな成長と安全・安心のまちづくり～

市長からの提案理由

平成25年度予算は、九州北部豪雨災害からの復旧・復興を最優先にしながら、合併後に山積する少子高齢化対策、農林業の推進、観光の振興、定住促進等の課題の克服に引き続き取り組むものである。

特に、平成25年度は重点テーマとして、「確かな成長と安全・安心のまちづくり」を設定したところである。

このテーマに基づき、第4次八女市総合計画に掲げる将来の都市像実現のため、これまで取り組んできた施策の一層の充実を図り、「確かな成長」に向けた施策の創造に取り組んでいく。

また、「災害に備えた安全」・「暮らしを守る安心」のまちづくりを実現し、地域の活力を取り戻すため、八女の新たな再生を目指し、将来を見据えた施策も展開していくこととなる。

九州北部豪雨による 災害復旧費66億840万円増

【一般会計の概要】

前年度に比べ57億1千万円（18.1%）の増となっている。増となった大きな理由は、九州北部豪雨による災害復旧費66億840万3千円の増である。

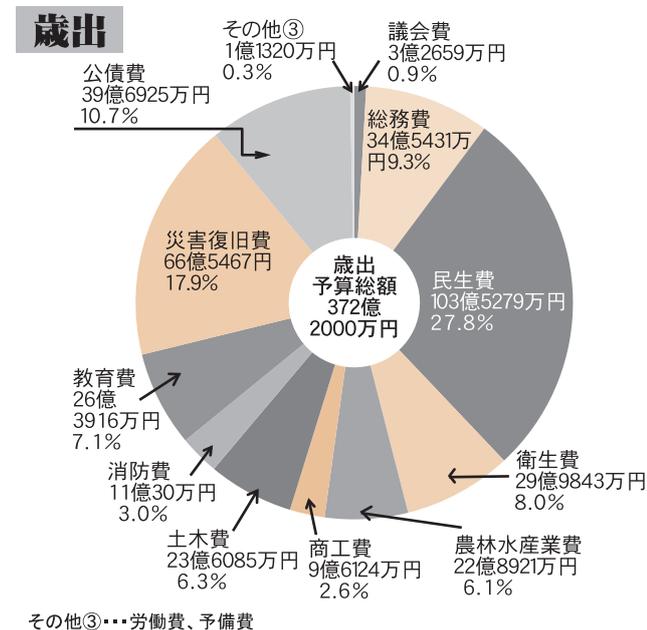
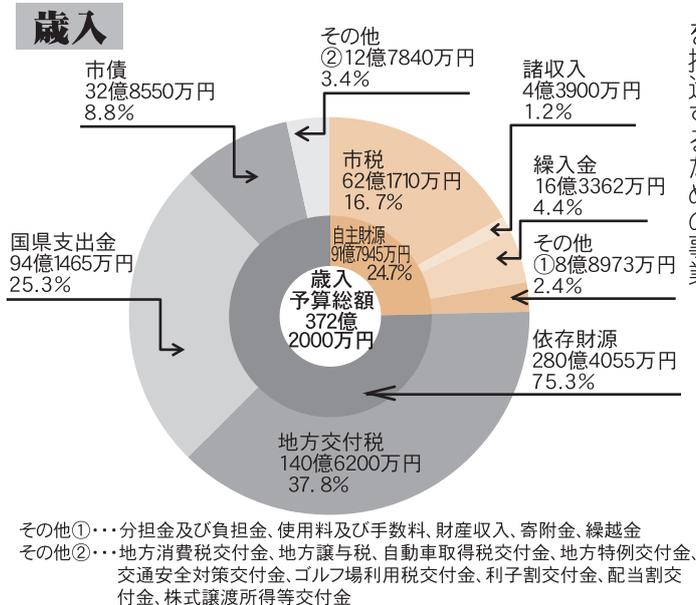
新規事業としては、※アンテナショップ運営事業（3195万円）、伝統工芸館改修事業（3063万円）、八女東部スポーツ公園施設管理・運営事業（5996万円）などである。

※福岡市に直売所を設け、八女市内の新鮮な農産物や特産品の販売促進と茶のくに八女の情報発信を推進するための事業。

反対討論

○八女東部スポーツ公園オープニングイベントに、約770万円の予算が計上されているが、本当に必要なのか。特に黒木地区は昨年7月の豪雨で甚大な被害を受けたところである。本格的な復旧がやっと始まったところであり、今年の梅雨にはどうなるのだろうかと不安を抱えながら復興を待ち望んでおられる。住民感情への配慮が必要ではないか。

○自主防災組織支援整備事業補助金について、現在94.2%の組織率であり、立ち上げ時の支援金を減額してあるが、今回の豪雨災害を教訓に防災強化のためにも予算の増額が必要ではないか。



グリーンピア八女敷地内

八女東部スポーツ公園条例を制定

利用料は1時間1050円(1面)

議案第19号

八女東部スポーツ公園条例の制定について

提案理由

スポーツ振興を通して、健康増進、青少年の健全育成及び地域交流の活性化による地域振興を目的とする八女東部スポーツ公園を設置することに伴い条例を制定しようとするものである。

問 11月1日から貸し出すということだが、申し込みはどのようにやるのか。

答 グリーンピア八女に一括してお願いしたいと考えている。

問 使用料は1時間あたり

1面が1050円、2面の場合が2100円とあるが、どのような考えで、この金額に決まったのか。

答 近隣の同じような施設をいくつか調査し、検討した結果1050円で設定させていただいた。合宿等で誘致するためには、あまり近隣市町村より高いと誘致が困難だと思つたので、そのあたりを勘案して設定している。実際の利用は2時間単位となる。

問 利用できる種目は、

答 メインはサッカーとなるが、グラウンドゴルフや天然芝を傷めない範囲であれば、レクリエー

ションや集会、キャッチボールなどもできる。



八女東部スポーツ公園

暑さ対策のために

小中学校に空調を設置

一般会計補正予算第9号

小中学校空調設置事業

2億8060万円

今回の補正は、国の第1次補正予算に伴う「地域の元気臨時交付金」事業によるものである。

問 地域の元気臨時交付金のなかで、空調を設置されるということだが、設定温度は決めてあるのか。

答 設定温度については、八女市の広域性から、一律に統一することは難しいのではないかと考えている。

節電やCO₂削減などの環境教育での活用もあるので、基準値を決めておいて、それぞれの学校の状況に応じながら設定していくほうがいいのではないかと考えている。

いかと考えている。そのあたりは校長会の中でしっかりと指導していきたい。



暑さ対策のため空調設備が予定されている校舎

委員会審査

総務文教

審査の主なもの

- 八女東部スポーツ公園条例の制定について (全員賛成で可決)
- 平成24年度一般会計補正予算
黒木小学校大規模改造統合工事費
岩戸山歴史文化交流館(仮称)建設工事費 など (全員賛成で可決)
- 平成25年度一般会計予算 (賛成多数で可決)



岩戸山歴史文化交流館(仮称)完成予想図

平成24年度一般会計補正予算

問 岩戸山歴史文化交流館(仮称)の建設工事費について、当初は7億3千万円とのことだったが、8億4568万1千円に増加した理由は。

答 7億3千万円は本体工事費の金額であり、設計費、管理業務委託、周辺整備や駐車場、東側の造成工事を合計した金額が、8億4568万1千円である。

平成25年度一般会計予算

問 八女東部スポーツ公園の天然芝の管理料は当初約1500万円と聞いていたが、当初予算によると2060万円くらいかかるようである。毎年この金額がかかるのか。

答 最初の年であるため費用がかかるが、年々精査して少しでも経費を下げられるよう努力していきたい。

いにしえのふるさと造り

45668万1千円である。

問 八女東部スポーツ公園の工事請負費1949万1千円の内訳は。

答 シェルター設置工事及び公園周辺のイノシシ侵入防止柵である。シェルターは選手が休むための屋根型のもので4基計画し、イノシシ侵入防止柵は周囲700メートルを予定している。

厚生

審査の主なもの

- 平成24年度一般会計補正予算
子育て支援総合施設(仮称)建設工事費 (全員賛成で可決)
- 平成25年度一般会計予算
(新)地域福祉コーディネーター設置モデル事業
(新)保育士等処遇改善臨時特例事業 (全員賛成で可決)
- 平成25年度国民健康保険事業費特別会計 98億9371万3千円 (全員賛成で可決)
- 平成25年度介護保険事業費特別会計 64億9582万8千円 (全員賛成で可決)
- 平成25年度後期高齢者医療特別会計 9億7924万6千円 (全員賛成で可決)
- 平成25年度矢部診療所特別会計 6106万円 (全員賛成で可決)

市民一丸となって医療費削減を

国民健康保険事業費

国民健康保険事業は、3億から3億5千万の財源不足が危惧されており、税率の改定もしくは、一般会計からの法定外繰り入れを行うなどの、厳しい状況下にある。審査の中では、平成25年度には、合併の経過措置も終了し、固定資産税の税率も統一される。また災害による税収減などの状況から、今以上税率を増や

すことはますます滞納者が増える恐れがあり、国保税の増額は厳しいのではないかと、受診率向上への積極的な方策を講じなければ、平成24年度に引き続き法定外の繰り入れもあり得るのではないかと、などの意見が出された。

- 平成25年度の方策として、
- ① 健診受診の個人負担金を、千円から500円に引き下げる
 - ② 各医療機関で受診できる期間を、例年より1ヶ月延長する
 - ③ 未受診者対策の強化
 - ④ FM八女や、広報紙・電子掲示板でのPR、のぼり旗の設置による広報
 - ⑤ 認定農業者への働きかけ
 - ⑥ 医師会と協議し、かかりつけ医に年1回の健診受診券の活用を依頼するなど、様々な方策で健診受診率



アップを図っていくとの説明を受けた。

人事案件

◆公平委員会委員の選任

次の方を選任することに同意しました。

熊谷 ミヨシ 氏(再任)

公平委員会とは

公平委員会は3人の委員をもって組織され、任期は4年です。

主な職務は、職員の給与、勤務時間その他勤務条件に関する措置要求などを審査判定します。

◆教育委員会委員の任命

次の方を任命することに同意しました。

金ヶ江 悦子 氏(再任)

山崎 久美子 氏(新任)

建設経済

審査の主なもの

- 平成24年度一般会計補正予算 (全員賛成で可決)
- 平成25年度一般会計予算 (賛成多数で可決)
- 平成25年度下水道事業特別会計予算 14億5909万3千円 (全員賛成で可決)
- 平成25年度水道事業会計予算 (全員賛成で可決)
 収益的収入6億4万1千円 支出5億8712万1千円
 資本的収入1億4208万7千円 支出3億3085万円
- TPP(環太平洋経済連携協定)への対応に関する請願 (採択)

災害復旧に全力を

平成24年度
一般会計補正予算

問 農林水産業費でハゼの栽培という説明だったが耕作地なら農業委員会の意見は聞いたのか。

答 荒廃農地対策で、ハゼの実を栽培する団体に20万円を補助するもので、県も地域特産品と位置づけよう。

しかし農業委員会との協議が不十分であった。

平成25年度
一般会計予算

問 イノシシ侵入防止柵整備事業補助金とは。

答 市の単独事業で電気柵設置助成事業に加え、国庫事業の補助対象外となるワイヤーメッシュ柵の補助も計画しよう。

問 農林災害復旧費で14億3千万円計上されているが。

答 豪雨災害による農地、農業用施設、林道災害の復旧費でそれぞれの工事費と県委託工事負担金である。



被災した水田

TPPに関する意見書を国に提出 食の安全・安心を守るため

請願者 福岡八女農業協同組合 代表理事組合長 久保 薫
福岡県農政連八女支部 委員長 山下 喜次郎
紹介議員 川口 誠二

請願採択に伴い、建設経済常任委員会から意見書案を上程し、本会議において全員賛成で可決後、意見書を政府に提出しました。

TPP（環太平洋経済連携協定）への対応に関する意見書

TPPIは、例外なき関税撤廃を前提としているだけでなく、国民の命と健康を守る医療制度や食の安全・安心の基準等についても改悪を余儀なくされ、さらに外国企業が国を訴えるISD（投資家対国家間の紛争解決）条項が導入される危険性もあり、まさに我が国の形を一変させるものである。

昨年12月の総選挙において、「聖域なき関税撤廃を前提にする限り交渉参加に反対する」など6項目の判断基準を政権公約として示し、国民の信任を受けた。

TPPが国民生活の根本に関わる重大問題であることを踏まえ、先の衆議院選挙の公約を順守するとともに、現政権における我が国の貿易政策の新たな基本方針を確立する必要がある。

よって、我が国及び地域の農業に対する壊滅的な打撃を与えるTPP交渉については断固として参加せず、食料自給率の向上や食料安全保障の観点からも、我が国農林水産業への十分な配慮の上で、下記の事項について強く要請する。

記

- ① 「聖域なき関税撤廃を前提にする限り交渉参加に反対する」ことをはじめ、食の安全・安心の基準や国民皆保険制度を守り、ISD条項は認めないことなど政権公約で示したTPPIに関する6項目の判断基準を堅持すること。
- ② 政府が米国等と行っている事前協議の内容について、徹底した情報開示と広範な国民的議論を行うこと。
- ③ 我が国の貿易政策の基本として、多様な農業の共存、林業・水産資源の持続的利用が可能となるルールの確立を明確に位置付け、これに基づき、重要品目については必要な国境措置を維持すること。
- ④ 前政権の「包括的経済連携に関する基本方針」には交渉相手国を戦略的に選定するという観点が欠落しており、かつ、すべての品目を自由化交渉の対象と位置付けるなどの問題が多いことから、これを早急に廃止し、我が国の目指すべき貿易政策の指針となる新たな基本方針を確立すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

平成25年3月21日

福岡県八女市議会

提出先 衆議院・参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、外務大臣、
財務大臣、農林水産大臣、経済産業大臣、内閣官房長官、
経済再生担当大臣

多くの意見が出されました

第3回議会報告会から

第3回議会報告会については、今年2月1日発行の議会だよりに掲載しておりますが、各会場でもさまざまな意見・要望等は、議会内部で議論するもの、また執行部につきなぎ回答をもらったものなどがあります。

また、議会（正副委員長以上）と行政区長との意見交換会においても各地域で出された内容を報告しております。そこで今回は2月の議会だよりに掲載できなかった質問、意見等を抜粋し、報告します。

〔議会に対しての質問・意見〕

問 議会だよりの中で、審議した議案の結果一覧を見る機会が執行部の提案した議案に賛成しているが、十分な議論がなされていないのか。

答 八女市議会は、委員会制を採っており、それぞれの委員会が審査し、本会議にその結果が報告される。その後質疑、討論を経て採決している。即決



大淵地区（大淵基幹集落センター）

議案もあるが、最終的には議員一人ひとりの責任において賛否を表明している。

●次回は執行部に対する意見・要望を掲載いたします。

問 TOPP（環太平洋経済連携協定）について議会としてどう対応しているのか。

答 現段階でのTOPP参加は反対であり、議会として意見書を関係機関に提出している。

問 中山間地域の農業を守るため、議会、議員も頑張ってもらいたい。

答 中山間地の実情はよく理解している。今後も執行部と一緒に知恵を出していきたい。予算審議等の中で充分議論していく。

問 今回の水害において、県の取り組み状況について議会として情報はつかないのか。

答 議会としても地元選出の代議員、県議を通じ、

問 今回の災害を受けて、ほかの議会では議員の行政視察を中止したと聞く。八女市議会はどうか。

答 今回の災害を受けて、ほかの議会では議員の行政視察を中止したと聞く。八女市議会はどうか。

問 中山間地の人口状況からすれば、24名位まで下げてもいいのではないか。

答 26名での選挙は一度も実施していない状況であり、現段階では定数削減について具体的な議論はしていない。

問 八女市の公債費（地方債）の額が大きと思う。健全財政運営になるように要望する。

答 議会として今後も厳しく監視し、その役割を果たしていく。



光友地区（市民センター）

議会を広く住民に知らせるために

＜議会だより編集委員会研修報告 2月4日～5日＞

宮崎県高千穂町

紙面構成は、本市と変わりないが、裏表紙には特別企画として「シリーズ老舗」と題して、町の店舗（老舗）を取材し掲載している。

老舗が多い当市にとって大変に興味を引く紙面である。

特徴的なこととして

- ①週刊誌のように見出しを特に重視する。
- ②中学生でも読めるように分かりやすく書くように心がける。
- ③見出しや写真の説明には方言をできるだけ使わない。
- ④写真は極力動きのあるもの（人物が入っているもの）を使用し、記念写真的なものは使わない。

八女市にどう生かす

より多くの住民の方々に親しみを持って読んでいただくために、委員一人ひとりが最善の編集作業にあたっていきたい。

また、議会だよりの独自性のためにも市広報と記事がダブルにならないように心がけていきたい。



高千穂町役場での研修風景

熊本県合志市

紙面編集のレイアウト色づかいなど、読みやすくなっており、一般質問紙面についても、当市と同じ2段組みであるが、紙面がすっきりしている。

記事の内容として、議会の動き、議員が出席した行事関係のお知らせなど、今後当市議会だよりも取り入れてもいいのではないかと思う。

円形議場で

傍聴者も密着した議会

＜議会運営委員会研修報告 1月24日～25日＞

静岡県掛川市

掛川市議会は、円形議場を有しており、議員・行政・傍聴者が同じ視線で参加できる議場である。

行政の主要施策として、小学校区を中心とした自治区の三役（区長・副区長・会計）と市の三役および部長との地区集会が行われており、質疑応答や地区の要望など会議の内容が「言いつばなし」「聞きつばなし」にならないよう『市長区長交流控帖』を作成し、次年度中央集会で配布、市民の声の在庫管理を行っている。市議会議員はオプザーバという立場で参加している。

静岡県藤枝市

藤枝市議会の特徴的なものは、予算及び決算特別委員会に全議員を半数ずつに振り分け（1年交代）、1人でも多くの議員が、市の事業を全般的・体系的にとらえた調査・審査が図られるような形態となっている。

また、行政が作成する『全事業の総点検シート』などを参考に、主要事業、新規及び長期継続



掛川市の円形議場

八女市にどう生かす

八女市議会は、毎年1回各地区において議会報告会を行っているが、行政側とのバランスも含めて方法や内容の検討が必要である。

また、予算・決算の審査の方法も執行部への提言など実施する手段として参考になった。是非、当市議会としても取り入れる方向で検討したい。

防災や減災への対策と備え

宮城県石巻市、岩手県釜石市、岩手県遠野市

＜総務文教常任委員会研修報告 1月29日～31日＞



津波で被災した門脇小学校

東日本大震災の被災地である宮城県石巻市及び、岩手県釜石市において、甚大な被害を受け、いまだ復旧のめどがたない被災地の行政の対応や住民の自立する姿をみてまわり、今後の地域の方向性を研修してきた。

昨年の九州北部豪雨などもそうであるが、地球規模で起こる災害は今後温暖化とともに多発化していくとみられる。一方で、地域における防災や減災の重要性が増している。水害と地震災害との対策の比較は違いすぎるが、住民との関わりや情報の共有化など行政の取るべき姿、安心と安全を提供するシステムの構築化は同じではないのか。また、このような観点から被災地に学ぶこと

は重要である。

これからやるべきことは防災よりも減災。今回の視察を通じて感じたことは広い海岸線を持つ三陸海岸で、全ての堤防をかさ上げするのは財政的にも困難。巨額の費用を費やして建設された釜石の防潮堤を始め、三陸のほとんどの防潮堤が津波で破壊された。人工的建造物で津波を「完全に防ぐのは不可能」だということは、被災地ですぐに感じた。いつどこでどんな災害が起きるか分からない。防災対策のコストは膨大であり、今後財政難が予想される八女市にとっても防災対策の合理性が問われるのではないか。



また、災害対策の視点を防災から減災に切り替えるのが現実的であり、その対応が必要と考える。本市においては、地震・台風・そして昨年起こった豪雨。さまざまな専門家の意見がある中で素人の判断をせざるを得ない。しかし、現実的な災害を想定することはできる。十分に対策を考え、備えておく必要がある。

岩手県遠野市

最後に岩手県遠野市を視察した。

「で・くらす遠野」における活性化の取り組みについて

① 交流と定住の情報収集と発信

② 1ターン・Jターン・Uターンの受け入れ支援とサポート

③ 定住に向けた支援相談の窓口

④ で・くらす遠野市民募集

1つ1つのプログラムに地域活性化の生き残り

手段としての努力を感じる。

遠野市民募集に関していえば、議会と執行部が連携し、東京における会員獲得など加入に奔走している。定住政策においては、窓口のワンストップ化がおこなわれている。確かに、行政における縦割り行政は利用する側にとっては、不自由極まりない。住みたいという人がいれば、支援や指導のもと何の抵抗もなく、そこに住めるといことが大事である。

八女市にどう生かす

この研修を終え、災害発生直後の避難方法、救援方法、ボランティアの受け入れ方法など、日常の中に取り入れる防災訓練や防災意識啓発を含む小さなノウハウの蓄積が官民ともに大切だと考えさせられた。特に地域における消防団の存在は大きい。しかし、この活動の場での悲劇も少なくなかった。地域に課せられた課題はあまりにも大きすぎる。一つ一つ積み木を組むような心構えを持つことが必要である。

紀伊半島大水害からの復旧・復興

＜建設経済常任委員会研修報告 1月29日～31日＞

平成25年1月29日～31日に和歌山県新宮市、奈良県十津川村、三重県熊野市の2市1村において、平成23年9月に発生した台風12号被害における復旧・復興調査を行った。



十津川村の治山事業

和歌山県新宮市

降雨量1828mm(9月2日～4日)年間降雨量の50%に達した。(死者13名・行方不明者1名)

熊野川上流に洪水調整の目的を持たない11基の発電用ダムがあり、毎秒約2万トンのダムの放流により川が氾濫し、災害になったと予想されることから、市議会としてダムの操作規定の見直しの要望書を国、県に提出された。

農地・農業用施設災害激甚災指定補助率として農地98.3%、農業用施設99.8%となる。

商工業対策として、地域経済全体の低迷がみられるため、寄附金をもとに災害復興プレミアム付商品券を2回発行されている。

奈良県十津川村

復旧・復興における課題

- ①入札の不成立の増
建設業者数の減と主任技術者不足
- ②道路寸断により、現状把握に日数を要する
- ③人員不足により査定までの日数の弾力的運用と査定が簡略化が必要

②災害復旧の3ヶ年以内での完了が困難。

災害初年度は工事着工が困難のため、実質2年度の終了を要求されるが、河川は取水時期工事制限があり、他工事による着手の遅れなどによる。

③災害査定までの日数の不足

1、ライフラインまでのタイムロス

- ①安全・安心に暮らせる村
- ②高齢者対策の中で、集団ブロックを形成し新集落づくりを目指す。
- ③環境にこだわる村を目指す。
- ④訪れてみたくなる村を目指す。

三重県熊野市

降雨量1600mm(9月2日～4日)

24時間最大降雨量

1138mm

最大時間降雨量

141mm

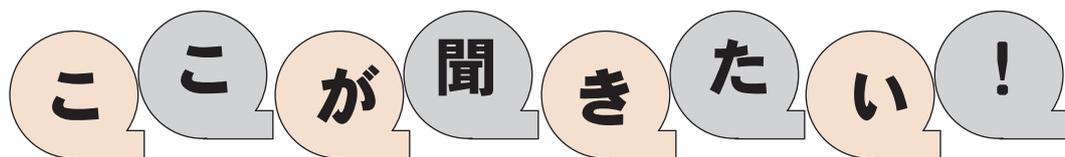
八女市にどう生かす

現在、八女市でも復旧工事を進めているが、災害箇所数が1136ヶ所と余りにも多く不落落箇所も出ている中、周辺地域からの参入をも促し、1日でも早い復旧を計るべきである。

特に、本年梅雨時期での2次災害が予想される箇所も多く市民の安全・安心のため、早急な対策が必要である。

また、八女市の災害査定が莫大な箇所数にもかかわらず、完了できたことはまさに奇跡といえる。職員の努力に感謝したい。

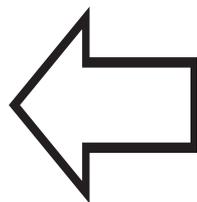
今後、市当局・議会・市民が一体となり、より早急な復旧・復興を計るべきである。



一般質問

順序	質問者氏名	質問事項
3月4日 (月)	牛島 孝之	1 小中学校の空調について
		2 学校週6日制について教育委員会の考えは
		3 八女市の再生可能エネルギーに対する今後の取り組みについて
		4 八女市の機構改革について
	森 茂生	1 豪雨災害について
	伊井 渡	1 市職員給与、手当
	樋口安癸次	1 県道玉名八女線北山地区の改良について
		2 県道玉名八女線の白木、和水町間のトンネル事業について
		3 県道柳瀬筑後線新庄変則五ツ角の改修について
		4 エレベータ付き市営住宅
3月5日 (火)	三角 真弓	1 2町2村との合併の検証
		2 安全・安心のまちづくりについて
	松崎 辰義	1 九州北部豪雨災害について
		2 教育行政について
	橋爪 房義	1 老朽化した小河川・水路等の積極的な改修の推進について
		2 職員の人材育成対策と行政のスピードアップについて
	角田 恵一	1 有害鳥獣対策について
2 再生可能エネルギーについて		
3月6日 (水)	小川 栄一	1 公立学校の学力向上への取り組み
		2 防災対策会議
		3 民間業者との協働のスタンス
		4 各審議会のあり方
	大坪久美子	1 医療費削減のための施策について
	井本 政弘	1 環境問題について
		2 九州北部豪雨災害被災者への支援について
3 市役所本庁庁舎の諸問題について		

《一般質問の詳しい内容》





一般質問とは

市の政治、行政全般にわたり、市長の方針、見解、事実の説明、報告を求めます。
議員は、質問により、政治、行政などを批判し、自己の意見を表明することができます。

議会だよりの一般質問原稿も議員自ら作成していただきますが、字数制限があるため、全ての質問答弁を掲載することができません。

ご質問が掲載できない質問答弁は、八女市議会ホームページまたは、市立図書館(分館含む)でご覧いただけます。



牛島 孝之

小中学校の空調について、八女市の考えは、どうなっているのか

答 平成24年度補正予算に空調設備工事費を計上している

問 電気料が発生するが

学校教育課としての考えは。

答 各小中学校合計で約260万円位と計画しており市で負担する。

問 学校週6日制について

学校週6日制について教育委員会の考えは。

答 現時点において学校週6日制の導入は考えていない。

問 八女市の機構改革について

今後黒木総合支所はどのような役割をするのか。

答 災害発生時の対応役割は重要である。今後総合支所の在り方について十分検証するとともに、25年度以降の機構改革において検討を行っていききたい。

問 民間委託されている業務について

民間委託されている業務についての精査及び今後の計画は。

答 可燃ごみ収集運搬業務、学校給食等先行実施した事例をもとに検証を進め、結果を踏まえた実施計画などを策定していきたい。



八女市役所黒木総合支所



森 茂 生



被災した水田

「水門からものすごい勢いで逆流していた」という証言もあるが

答 早急な解決策を国・県に要望する

問 豪雨災害について
山下地区の水門が適正に操作され、越流もなかったと仮定すれば浸水の水位が2m低くなるという話もある。県が水門を設置し、要望により、今度は撤去した。県の対応が非常にまずかったのでは。

答 国直轄でやってもらわないと根本的な解決は出ないのでは。

問 根本的な解決が出来るまで、水門を放置するわけにはいかない。又、県の関係者が「山

下地区は遊水地」と発言したとか。この場を借りて抗議しておく。
問 災害の財政問題について
「農家負担ゼロにすると、全部が交付税対象にならず、八女市に莫大な影響を与える」と言われたが、読み違えたのではないか。
答 県を通して確認したが90%は交付税対象になる。修正する。
問 農家負担ゼロにしても交付税措置はあり、むしろ国は農家負担ゼロを想定している。八女市はもっと負担すべきだ。
答 今後、さまざまな支援策を考える。

持家手当は、県人事委員会も勧告廃止したので、即刻廃止すべきでは

答 他市町村の状況を勘案し、検討していく



伊 井 渡



問 市職員一人当たり年間人件費は、退職負担金、共済費等を含めれば約920万円にもなり、市内民間水準約460万円の2倍にもなるが、異常高すぎると思われませんか。
答 民間準拠している人事院勧告を尊重、遵守し、近隣自治体との均衡を図り決定している。

問 国家公務員給与7・8%削減に伴い、7月から地方交付税が、その分減額されると思うが、市はどう対処されるのか。
答 全国市長会、近隣自治体の状況を踏まえ、今後検討する所存である。

問 全職員の給料高過ぎ、分は約36億円にもなり、固定資産税約34億円より多いので、市長が市内給与と所得者水準くらいの職員給与と適正化議案と、固定資産など税金の大幅引き下げ議案を提案すれば、市民は大歓迎され議員としても反対理由はなく賛成多数で可決すると思うが。
答 そついう考えは現時点ではない。

問 今回も市民軽視・無視、職員優遇の発言で残念だった、今後一刻も早く官民格差のない行政に着手される事を期待する。

県道玉名八女線の白木～和水町間のトンネル事業について



樋 口 安 癸 次

答 福岡県にこの事業ができるよう要望書を提出している



白木・和水町間のトンネル

問 和水町は和水町でがんばっているのが、八女市もしっかりとがんばってほしい。

答 それぞれ1月18日に

問 八女市においては、

早くに、この事業が実現できるように福岡県には県

土整備部長村山一弥様へ

の要望活動を行い、交

通危険箇所改善に努め

たいと考えている。

問 エレベーター付きの

市営住宅を是非建ててい

ただきたい。

答 市営住宅等の長寿命

化計画を策定中であり、

エレベーターの設置について

は、国の評価基準等に基

づき設置するところになると

考えている。



三 角 真 弓



八女区保護司の研修会

3年経過、2町2村との
合併の検証は

答 豪雨災害の発生もあったが順調
に調整は進んだと考える

託し8団体について経営診
断をした。

問 公会計を現行の総務
省方式の改訂モデル式か
ら企業会計により近い基
準モデルへの転換を。

答 当分は見直さない。
社会を明るくする運動へ
の取り組みについて。

問 安全・安心のまちづ
くりのために、犯罪再犯
に対する条例の見直しを。

答 近隣を参考に検討。
問 社会復帰支援は地域
社会の理解と協力、公的
な機関や民間団体の連携
も重要であるが行政とし
ての取り組みは。

答 保護司の方々の連
携をどう図るか検討する。
※青少年弁論大会への参
加を要望。

問 行財政改革をどのよ
うに推進したのか。

答 第6次八女市行財政
改革大綱に則り、定員の
適正管理、公共施設のあ
り方検討、市補助金の総
点検を重点課題として取
り組んできた。

平成23年度に「リアルに委



松崎辰義

災害復旧が進められているが、梅雨を迎えるにあたり迂回路の整備は

答 安全な通行の確保に、関係者と連携して整備していく



笠原地区の県道迂回路

復旧ボランティアの支援について

ここで、取りまとめをしていく。

問 ボランティアに対して十分理解されておらず、ニーズの掘り起こしが必要と言われているが、どのように考えているのか。

答 農業復興推進会議を中心にボランティア団体とも連携して取り組みたい。

問 ボランティアの代表の方の話では、現場で指導する人が足りないと聞く、県へ人的配置等も要望すべきではないか。

答 遠慮される方も多いため、まずは被災農家の実態調査をやるということ。

答 現場においては2つの課題がある。ニーズの掘り起こしと、現場サイドでの対応の体制づくりが重要で、県を含めて協議をしている。

問 景観上、棚田保全のために、昔ながらのコンクリートを使わない玉石積み等に補助はできないのか。

答 中山間の事業については自力施工というのがあり、機械の借り上げ、原材料の支給をしているが、今後いろんな災害復旧の事業をして行く中で、さまざまな問題が生じてくるので研究したい。

老朽化した小河川・水路等の改修要望 個所を市はいつまで放置するのか

答 今後、国庫補助事業を活用し短期間で整備を推進する



橋爪房義



老朽化した水路(新庄地内)

問 改修要望書の受理後、永年放置している小川、水路等の老朽箇所は、緊急に完遂すべきだ。

答 約200件の要望箇所が未処理である。この解消に向け、今、検討及び計画中の事業は、有利な国庫の補助事業を活用した、次期中山間地域総合整備事業と旧八女地区では、集落基盤整備事業である。国の採択を受け、平成28年度から事業開始を目指している。この事業では、4～5年間の短期間で整備出来る可能性がある。平成27年度迄は、優先順位等従来の予算で進める。

問 職員の人材育成と行政のスピードアップ策は、課題解決に向けた自己啓発の研修、職場毎の集団研修、新人、係長、課長等は、5年、10年、15年毎の研修もしている。

問 職員採用試験の応募状況及び結果について。
答 ①大卒、高卒を対象とした一般事務、応募176人に対し15人の採用、②保育士、同25人に対し2人③社会福祉士、同6人に対し1人④一般事務(身体しよつがい者対象)、同2人に対し1人⑤建築士、同2人に対し1人の計20人を採用した。

イノシシ侵入防止柵の事業効果と 検証はどのように行っていくのか

答 設置後の作物被害の状況等のアンケート調査をしたい



角田 恵一



設置されたイノシシ侵入防止柵

問 猟友会会員の高齢化・減少対策は。

答 年間経費の負担軽減を図る施策や国の鳥獣被害防止総合事業を活用した助成などを行っている。

問 シビエ（狩猟により捕獲された野生の鳥獣）の利活用促進を。

答 県段階で、シビエを地域資源として活用するため、料理方法の開発や普及活動をする「ふくおかジビエ研究会」が設立され、八女市からは商工会議所が参加している。商工会議所では、補助事業等を活用しイノシシ肉を利用した料理などの開発

事業を展開している。市としても地場産業振興事業補助金等で事業推進を図ってきたい。

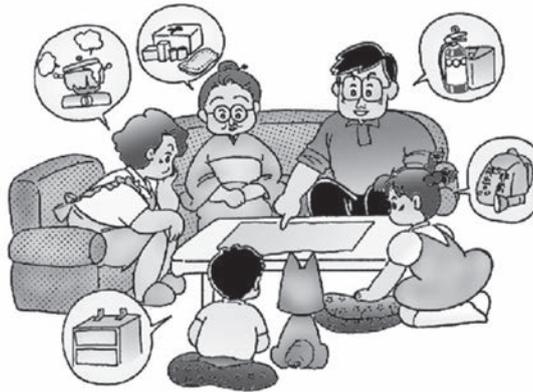
問 再生可能エネルギーの取り組みについて

答 メガソーラー事業導入について、地域から用地提供を含めて要望があっているが今後の考えは。

問 八女市再生可能エネルギー導入検討委員会で議論があっている。今年度末までに一定の方向性が示されるので、その結果により、メガソーラー事業も含めて今後の具体的な施策を検討してきたい。



小川 栄一



問 避難場所の設置ぐらいはもう出来ていいのではないか。

答 地域で一番安全な所にお願したいという事で検討している。協議が調えば市民の皆様へ周知していく段取りになると思う

問 もう3月、雨期に間に合うのか。

答 市民一人一人にあなたはどこに行きなさいというのを市が決められない。情報を提供して自分

答 市民を交えた防災対策推進協議会設置の進捗状況は復旧・復興に取り組んできたが、具体的に進んでいない

問 情報の周知が一番の問題と思うが。

答 地域には防災組織が8割ぐらい出来ていると思うが、一つのものにまとめる次の災害に備える形をきちっと策定するにはもう少し時間がかかるんじゃないかと。

問 全ての対策というのは完璧ということはあるか。

答 私どもとしては完璧を目指して努力していきたいと思っている。



大坪 久美子

もつと八女茶を飲んで健康 推進を図ろう

答

今後、生産現場とも普及啓発については努めていきたい

医療費削減のための施策について

問 胃がんを引き起こすとされるピロリ菌が原因

の慢性胃炎の除菌治療にまで、健康保険が適用されることとなった。胃炎段階から除菌することで胃がん予防につながるかと期待している。この際、

当市も胃がん検診に「ピロリ菌検査」を組み入れて胃がんを撲滅していただきたい。

答 ピロリ菌感染を考慮した検診については、国の研究班で評価を始めたばかりであり、その評価により今後検討していきたい。人口10万人以上の市



八女茶が一番!

や区のがん死亡率ランキングを見ているとおもしろいことがわかった。がんの死亡率が低い町は同じ特徴を持っていた。それは緑茶である。お茶にはがん予防効果があるのでないかと期待されている。八女市はお茶の生産地であり、老若男女問わず、もつとお茶を飲むべきでは。

答 市民はもとより多くの方々に八女茶を飲んでいただけるよう関係団体とも連携しながら、引き続き普及啓発に努めたい。

PM2.5による大気汚染について、市民の不安を払拭する為の情報提供を

答

市のホームページやFM八女の活用を検討する



井本 政弘

問 中国からの大量の飛来が懸念される大気汚染原因の微小粒子状物質PM2.5について、市民の不安を払拭する為の対策を。

答 大気汚染常時監視測定局の八女市内への設置を県に要望している。又、市内小中学校や保育所等へは、光化学オキシダント対策用の緊急連絡網を活用したい。FM八女の活用も検討している。

問 九州北部豪雨による商工業関係被災者への支援はどうなっているか。

答 市の対策として、八女市中小企業融資資金貸付利率を1.65%に引き下げる検討をしている。又、利子補給についても0.8%で対応する等、商工会議所、商工会と連携しながら今後も取り組む。

問 市役所本庁舎の駐車場問題を含め諸問題の解決の為の建替、移転等も含めて市長の考えは。

答 豪雨災害が最優先ではあるが、議会と行政との関係、耐震問題、合併推進債や合併特例交付金等の財源問題も含め平成25年度、26年度にかけて庁舎問題に関する検討委員会を立ち上げたい。



八女市役所本庁舎

3月定例会で審議した議案の結果

3月定例会

報告第1号	専決処分について(物損事故による損害賠償)	報告
報告第2号	専決処分について(交通事故による損害賠償)	報告
報告第3号	専決処分について(落石乗り上げ事故による損害賠償)	報告
議案第1号	議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第2号	特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第3号	八女市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第4号	八女市環境センター条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第5号	八女市製茶技術研修工場条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第6号	八女市営住宅設置条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第7号	八女市営住宅管理条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第8号	八女市都市公園条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第9号	八女市立小中学校設置条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第10号	八女市水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第11号	八女市簡易水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第12号	八女市さくら放送施設による広告及び宣伝の使用料に関する条例を廃止する条例の制定について	可決
議案第13号	八女市環境センター余熱利用施設条例を廃止する条例の制定について	可決
議案第14号	八女市新型インフルエンザ等対策本部条例の制定について	可決
議案第15号	八女市指定地域密着型サービスの事業等の人員、設備及び運営の基準等に関する条例の制定について	可決
議案第16号	八女市道路構造の基準に関する条例の制定について	可決
議案第17号	八女市道路標識の寸法に関する条例の制定について	可決
議案第18号	八女市準用河川管理施設等の構造の技術的基準に関する条例の制定について	可決
議案第19号	八女東部スポーツ公園条例の制定について	可決
議案第20号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について	可決
議案第21号	市道路線の廃止について	可決
議案第22号	市道路線の認定について	可決
議案第23号	市道路線の変更について	可決
議案第24号	平成24年度八女市一般会計補正予算(第9号)	可決
議案第25号	平成24年度八女市国民健康保険事業費特別会計補正予算(第4号)	可決
議案第26号	平成24年度八女市簡易水道事業費特別会計補正予算(第4号)	可決
議案第27号	平成24年度八女市下水道事業特別会計補正予算(第3号)	可決
議案第28号	平成24年度八女市介護保険事業費特別会計補正予算(第3号)	可決
議案第29号	平成24年度八女市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可決
議案第30号	平成24年度八女市農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号)	可決
議案第31号	平成24年度八女市矢部診療所特別会計補正予算(第1号)	可決
議案第32号	平成24年度八女市水道事業会計補正予算(第3号)	可決
議案第33号	平成25年度八女市一般会計予算	可決
議案第34号	平成25年度八女市国民健康保険事業費特別会計予算	可決
議案第35号	平成25年度八女市簡易水道事業費特別会計予算	可決
議案第36号	平成25年度八女市住宅新築資金等貸付事業費特別会計予算	可決
議案第37号	平成25年度八女市下水道事業特別会計予算	可決
議案第38号	平成25年度八女市介護保険事業費特別会計予算	可決
議案第39号	平成25年度八女市後期高齢者医療特別会計予算	可決
議案第40号	平成25年度八女市農業集落排水事業特別会計予算	可決
議案第41号	平成25年度八女市矢部診療所特別会計予算	可決
議案第42号	平成25年度八女市黒木町串毛財産区特別会計予算	可決
議案第43号	平成25年度八女市黒木町木屋財産区特別会計予算	可決
議案第44号	平成25年度八女市黒木町大淵財産区特別会計予算	可決
議案第45号	平成25年度八女市水道事業会計予算	可決
議案第46号	福岡県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の増減及び福岡県市町村職員退職手当組規約の変更について	可決
議案第47号	教育委員会委員の任命について	《金ヶ江 悦子》 同意
議案第48号	教育委員会委員の任命について	《山崎 久美子》 同意
議案第49号	公平委員会委員の選任について	《熊谷 ミヨシ》 同意
請願第1号	TPP(環太平洋経済連携協定)への対応に関する請願	採択
委員会提出議案第1号	八女市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	可決
委員会提出議案第2号	八女市議会政務調査費の交付に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
委員会提出議案第3号	八女市議会基本条例の一部を改正する条例の制定について	可決
委員会提出議案第4号	八女市議会会議規則の一部を改正する規則の制定について	可決
意見書案第1号	TPP(環太平洋経済連携協定)への対応に関する意見書	可決

